

注3

大学番号：私232

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

大阪成蹊大学 マネジメント学部 国際観光ビジネス学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪成蹊学園  
平成30年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

クイエイクカク ホンブチョウ  
経営企画本部長

ミヤチ シクキ  
宮地 茂樹

電話番号 06-6829-2620

(夜間) 06-6829-2620

F A X 06-6829-2802

e-mail ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## マネジメント学部

<国際観光ビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人大阪成蹊学園

## (2) 大学名 大阪成蹊大学

## (3) 大学の位置

〒533-0007  
大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イシゲル) 石井 茂 (平成25年4月)		
学長	(ムサノ マコト) 武蔵野 實 (平成27年4月)		
学部長	(ミズノ トシキ) 水野 利昭 (平成30年4月)		
学科長等	(クニエダ ヨシミ) 国枝 よしみ (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
マネジメント学部 国際観光ビジネス学科  学士(経営学)	経済学関係	4年	60人	年次 3年次 2人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [3]								1.01倍	
志願者数	191 (-) [3]	- (-) [-]								
受験者数	187 (-) [3]	- (-) [-]								
合格者数	116 (-) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	61 (-) [1]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	61 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )							
2年次	/								
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	61 [ 1 ] ( - )								

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	61人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	61人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<マネジメント学部 国際観光ビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 講義 入門基	大学での学びとキャリアを考える	1前	2			2				5
	日本語コミュニケーション1	1前	2							1
日本語表現	日本語コミュニケーション2	1後	2							1
	情報リテラシー1	1前	2							1
情報処理	情報リテラシー2	1後	2							1
	英語基礎 I	1・2前	1							1
	英語基礎 II	1・2後	1							1
	英語演習 I	1・2前後	1							1
	英語演習 II	1・2前後	1							1
	英語演習 III	2・3前	1							1
	英語演習 IV	2・3後	1							1
	英語表現 I	1・2・3前後	1							1
	英語表現 II	1・2・3後	1							1
	英語表現 III	2・3前	1							1
	総合英語 A	3・4前	1							1
	総合英語 B	3・4後	1							1
	総合英語 C	3・4後	1							1
共通基礎科目	中国語入門 I	1・2・3前後	1							1
	中国語入門 II	1・2・3後	1							1
	フランス語入門 I	1・2・3前後	1							1
	フランス語入門 II	1・2・3後	1							1
	韓国語入門 I	1・2・3前	1							1
	韓国語入門 II	1・2・3後	1							1
	海外短期語学研修	1・2・3後	2							1
	General English 1	1前	2		1	1				2
	General English 2	1後	2		1	1				2
	General English 3	2前	2		1	1				2
大学 共通科目	General English 4	2後	2		1	1				2
	English Communication 1	1前	2			1				3
	English Communication 2	1後	2			1				3
	English Communication 3	2前	2			1				3
	English Communication 4	2後	2			1				3
	日本語演習 1	1前	1							1
	日本語演習 2	1後	1							1
	日本語演習 3	2前	1							1
日本語演習 4	2後	1							1	
	総合日本語	3・4前	1							1
人 間 の 理 解	総合講座「日本人論」	1・2・3・4後	2							1
	日本の文学	1・2・3・4前	2							1
	人間と宗教	1・2・3・4後	2							2
	比較宗教思想史	1・2・3・4前	2							1
	哲学	1・2・3・4前	2							2
	心理学	1・2・3・4前後	2							1
	民族学	1・2・3・4前	2							1
	比較文化論	1・2・3・4後	2							1
	考古学	1・2・3・4前	2							1
	身体論	1・2・3・4後(第)	2							1
	20世紀の芸術	1・2・3・4後	2							2
	現 代 社 会 と 国 際 理 解	日本国憲法	1・2・3・4後	2						
国際協力と日本		1・2・3・4前	2							1
国際理解教育		1・2・3・4後	2							1
人権と社会		1・2・3・4後	2							2
現代倫理		1・2・3・4前	2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 講義 入門基	大学での学びとキャリアを考える	1前	2			2				5
	日本語コミュニケーション1	1前	2							3
日本語表現	日本語コミュニケーション2	1後	2							3
	情報リテラシー1	1前	2							2
情報処理	情報リテラシー2	1後	2							2
	英語基礎 I	1・2前	1							1
	英語基礎 II	1・2後	1							1
	英語演習 I	1・2前	1							1
	英語演習 II	1・2後	1							1
	英語演習 III	2・3前	1							1
	英語演習 IV	2・3後	1							1
	英語表現 I	1・2・3前	1							1
	英語表現 II	1・2・3後	1							1
	英語表現 III	2・3前	1							1
	総合英語 A	3・4前	1							1
	総合英語 B	3・4後	1							1
	総合英語 C	3・4後	1							1
共通基礎科目	中国語入門 I	1・2・3前後	1							1
	中国語入門 II	1・2・3前	1							1
	フランス語入門 I	1・2・3前後	1							1
	フランス語入門 II	1・2・3前	1							1
	韓国語入門 I	1・2・3前	1							1
	韓国語入門 II	1・2・3後	1							1
	海外短期語学研修	1・2・3後	2							2
	General English 1	1前	2		1	1				1
	General English 2	1後	2		1	1				1
	General English 3	2前	2		1	1				2
大学 共通科目	General English 4	2後	2		1	1				2
	English Communication 1	1前	2			1				1
	English Communication 2	1後	2			1				1
	English Communication 3	2前	2			1				3
	English Communication 4	2後	2			1				3
	日本語演習 1	1前	1							1
	日本語演習 2	1後	1							1
	日本語演習 3	2前	1							1
日本語演習 4	2後	1							1	
	総合日本語	3・4前	1							1
人 間 の 理 解	総合講座「日本人論」(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	日本の文学	1・2・3・4後	2							1
	人間と宗教	1・2・3・4前後	2							2
	比較宗教思想史	1・2・3・4前	2							1
	哲学	1・2・3・4前後	2							2
	心理学	1・2・3・4前後	2							1
	民族学	1・2・3・4前	2							1
	比較文化論	1・2・3・4前	2							1
	考古学	1・2・3・4後	2							1
	身体論	1・2・3・4後(第)	2							2
	20世紀の芸術	1・2・3・4後	2							2
	現 代 社 会 と 国 際 理 解	日本国憲法	1・2・3・4前後	2						
国際協力と日本		1・2・3・4後	2							1
国際理解教育		1・2・3・4後	2							2
人権と社会		1・2・3・4前後	2							1
現代倫理		1・2・3・4前後	2							2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	現代社会と国際理解	社会学概論	1・2・3・4前	2							1
		多文化共生社会	1・2・3・4後	2							1
		日本の社会福祉	1・2・3・4後	2							1
		女性学・男性学	1・2・3・4前	2							1
		経済入門	1・2・3・4前	2							1
		メディア・リテラシー	1・2・3・4後	2							1
		日本史概説	1・2・3・4前	2							1
		外国史概説	1・2・3・4後	2							1
		情報と職業	1・2・3・4後	2							1
		生命と科学	1・2・3・4後	2							1
	科学技術と環境の理解	環境と科学	1・2・3・4後	2							1
		暮らしの科学	1・2・3・4前	2							1
		物質と科学	1・2・3・4前	2							1
	地域の理解	現代科学論	1・2・3・4前	2							3
		大阪の風土と文化	1・2・3・4後	2							1
		京都の文化と芸術	1・2・3・4前	2							1
	子どもと社会	地域理解	1・2・3・4前	2			1				1
		子どもと文化	1・2・3・4後	2							1
	スポーツ	子どもの成長とコミュニティ	1・2・3・4後	2							1
		スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1							1
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4前	1							1
スポーツ演習Ⅲ		1・2・3・4前	1							2	
健康科学	1・2・3・4後	2							1		
キャリア支援科目	キャリアデザインⅠ	1後	2			1				3	
	キャリアデザインⅡ	2前	2			1				3	
	キャリアデザインⅢ	2後	2			1				3	
	キャリアデザインⅣ	3前	2			1				2	
	キャリアデザインⅤ	3後	2			1				2	
	インターンシップⅠ	2前	2							3	
	インターンシップⅡ	3前	2							3	
	キャリア演習Ⅰ	2前後	2							2	
	キャリア演習Ⅱ	2後・3前	2							2	
	キャリア演習Ⅲ	2・3後	2							2	
学部共通科目	演習科目共通	基礎演習Ⅰ	1前	2		2	1				
		基礎演習Ⅱ	1後	2		2	1				
	学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2							1
		マネジメントインフォメーション	1後	2							1
		ビジネス会計Ⅰ	1・2前	2							1
		ビジネス会計Ⅱ	1・2後	2							1
		ICT基礎Ⅰ	1前	2							1
		ICT基礎Ⅱ	1後	2							1
	学部基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2							1
		経営戦略論	2・3後	2							1
		マーケティング論	2・3前	2			1				1
		組織とコミュニケーション	2・3前	2							1
	専門共通科目	サービスマネジメント	2・3後	2			1				1
		リスクマネジメント	2・3後	2							1
ビジネス会計応用Ⅰ		1前	2							1	
ビジネス会計応用Ⅱ		1後	2							1	
流通論		2・3前	2							1	
人事管理		2・3後	2							1	
インターネットビジネス		2・3後	2			1				1	
ビジネスデータ分析		2・3後	2			1				1	
専門共通科目	情報倫理	2・3前	2							1	
	情報社会論	2・3後	2							1	
	データベース活用	2・3前	2							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	現代社会と国際理解	社会学概論	1・2・3・4前	2								2
		多文化共生社会	1・2・3・4後	2								2
		日本の社会福祉	1・2・3・4後	2								1
		女性学・男性学	1・2・3・4前	2								1
		経済入門	1・2・3・4前	2								2
		メディア・リテラシー	1・2・3・4後	2								1
		日本史概説	1・2・3・4前	2								1
		外国史概説	1・2・3・4後	2								1
		情報と職業	1・2・3・4後	2								1
		生命と科学	1・2・3・4後	2								2
	科学技術と環境の理解	環境と科学	1・2・3・4後	2								1
		暮らしの科学	1・2・3・4前	2								1
		物質と科学	1・2・3・4前	2								1
	地域の理解	現代科学論	1・2・3・4前	2								3
		大阪の風土と文化	1・2・3・4後	2								1
		京都の文化と芸術	1・2・3・4前	2								1
	子どもと社会	地域理解	1・2・3・4前	2				1				1
		子どもと文化	1・2・3・4後	2								1
	スポーツ	子どもの成長とコミュニティ	1・2・3・4後	2								1
		スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1								1
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4前	1								1
スポーツ演習Ⅲ		1・2・3・4前	1					1			3	
健康科学	1・2・3・4後	2								2		
キャリア支援科目	キャリアデザインⅠ	1後	2				1				3	
	キャリアデザインⅡ	2前	2				1				3	
	キャリアデザインⅢ	2後	2				1				3	
	キャリアデザインⅣ	3前	2				1				2	
	キャリアデザインⅤ	3後	2				1				2	
	インターンシップⅠ	2前	2								3	
	インターンシップⅡ	3前	2								3	
	キャリア演習Ⅰ	2前後	2								2	
	キャリア演習Ⅱ	2後・3前	2								2	
	キャリア演習Ⅲ	2・3後	2								2	
学部共通科目	演習科目共通	基礎演習Ⅰ	1前	2				1	1	1		
		基礎演習Ⅱ	1後	2				1	1	1		
	学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2					1			
		マネジメントインフォメーション	1後	2						1		
		ビジネス会計Ⅰ	1・2前	2								1
		ビジネス会計Ⅱ	1・2後	2								1
		ICT基礎Ⅰ	1前	2								1
		ICT基礎Ⅱ	1後	2								1
	学部基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2								1
		経営戦略論	2・3後	2								1
		マーケティング論	2・3前	2				1				1
		組織とコミュニケーション	2・3前	2								1
	専門共通科目	サービスマネジメント	2・3後	2					1			1
		リスクマネジメント	2・3後	2								1
ビジネス会計応用Ⅰ		1前	2								1	
ビジネス会計応用Ⅱ		1後	2								1	
流通論		2・3前	2								1	
人事管理		2・3後	2								1	
インターネットビジネス		2・3後	2				1				1	
ビジネスデータ分析		2・3後	2						1		1	
専門共通科目	情報倫理	2・3前	2								1	
	情報社会論	2・3後	2								1	
	データベース活用	2・3前	2								1	



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門科目	情報ネットワーク	2・3後	2								1	
	マルチメディア	2・3前	2								1	
	生産管理	3・4前	2			1						
	社会貢献ビジネス	3・4後	2								1	
	経営モデル分析	3・4前	2			1						
	国際経営論	3・4前	2								1	
	企業ネットワーク論	3・4前	2								1	
	G I S基礎	3・4前	2								1	
	G I S応用	3・4後	2								1	
	プロジェクトマネジメント	3・4前	2								1	
	情報セキュリティ	3・4前	2								1	
	企業コンサルティング入門	3・4後	2								1	
	スポーツマンシップ論	1前	2								1	
	スポーツ栄養	3・4前	2								1	
	Intercultural Studies 1	1前	1								1	
	Intercultural Studies 2	1後	1								1	
	Study Abroad English 1	2前	1								1	
	Study Abroad English 2	2後	1								1	
	専攻科目	国際経営総論	1前	2			1					
		観光ビジネス概論	1後	2				1				
専門基礎科目	短期海外研修	1前	2			1	2					
	国際経営戦略論	2・3前	2			1						
	民法Ⅰ	2・3前	2								1	
	民法Ⅱ	2・3後	2								1	
	経営統計入門	2・3後	2			1						
	消費者行動論	2・3後	2			1						
	ホテルマネジメント論	2・3前	2				1					
	ブライダル事業論	2・3後	2				1					
	旅行業事業論	2・3前	2			1						
	観光マーケティング	2・3後	2				1					
	Research & Presentation 1	3前	2				1				1	
	Research & Presentation 2	3後	2				1				1	
学別展開専門科目	Thesis Writing 1	4前	2			1	1					
	Thesis Writing 2	4後	2			1	1					
	アジア市場と日本	3・4前	2			1						
	企業財務論	3・4後	2								1	
	Global Marketing	3・4前	2			1						
	多国籍企業論	3・4後	2			1					1	
	Airline Business Strategy	3・4後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	3・4前	2			1						
	ブランド・マネジメント	3・4前	2				1					
	広告とメディア	3・4後	2			1						
	テーマパーク・レジャー産業論	3・4前	2			1						
	MICEビジネス論	3・4後	2			1					1	
専門キャリア科目	地域経営論	3・4後	2			1						
	観光マネジメント特殊講義	3・4前	2			1						
	Global Business Studies 1	3前	1				1					
	Global Business Studies 2	3後	1				1					
	Global Business Studies 3	4前	1			1						
	Global Business Studies 4	4後	1			1						
	旅行業法関連法規	2・3前	2			1						
	旅行業取扱管理者演習	2・3前	2								1	
	旅程管理者演習	2後	2			1						
	イベント企画演習	3後	2			1						
	専門インターンシップ	3後	2				1				1	
	国際観光ビジネス調査	3後	2			1						
専門キャリア科目	English for Business Communication 1	3前	2			1	1					
	English for Business Communication 2	3後	2			1	1					
	English for Business Communication 3	4前	2			1					1	
	English for Business Communication 4	4後	2			1					1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門科目	情報ネットワーク	2・3後	2								1	
	マルチメディア	2・3前	2								1	
	生産管理	3・4前	2							1		
	社会貢献ビジネス	3・4後	2								1	
	経営モデル分析	3・4前	2						1			
	国際経営論	3・4前	2								1	
	企業ネットワーク論	3・4前	2								1	
	G I S基礎	3・4前	2								1	
	G I S応用	3・4後	2								1	
	プロジェクトマネジメント	3・4前	2								1	
	情報セキュリティ	3・4前	2								1	
	企業コンサルティング入門	3・4後	2								1	
	スポーツマンシップ論	1前	2								1	
	スポーツ栄養	3・4前	2								1	
	Intercultural Studies 1	1前	1						1			
	Intercultural Studies 2	1後	1						1			
	Study Abroad English 1	2前	1								1	
	Study Abroad English 2	2後	1								1	
	専攻科目	国際経営総論	1前	2			1					
		観光ビジネス概論	1後	2				1				
専門基礎科目	短期海外研修	1前	2			1	2					
	国際経営戦略論	2・3前	2			1						
	民法Ⅰ	2・3前	2								1	
	民法Ⅱ	2・3後	2								1	
	経営統計入門	2・3後	2			1						
	消費者行動論	2・3後	2			1						
	ホテルマネジメント論	2・3前	2				1					
	ブライダル事業論	2・3後	2				1					
	旅行業事業論	2・3前	2			1						
	観光マーケティング	2・3後	2				1					
	Research & Presentation 1	3前	2				1				1	
	Research & Presentation 2	3後	2				1				1	
学別展開専門科目	Thesis Writing 1	4前	2			1	1					
	Thesis Writing 2	4後	2			1	1					
	アジア市場と日本	3・4前	2			1						
	企業財務論	3・4後	2								1	
	Global Marketing	3・4前	2			1						
	多国籍企業論	3・4後	2			1					1	
	Airline Business Strategy	3・4後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	3・4前	2			1						
	ブランド・マネジメント	3・4前	2				1					
	広告とメディア	3・4後	2			1						
	テーマパーク・レジャー産業論	3・4前	2			1						
	MICEビジネス論	3・4後	2			1					1	
専門キャリア科目	地域経営論	3・4後	2			1						
	観光マネジメント特殊講義	3・4前	2			1						
	Global Business Studies 1	3前	1				1					
	Global Business Studies 2	3後	1				1					
	Global Business Studies 3	4前	1			1						
	Global Business Studies 4	4後	1			1						
	旅行業法関連法規	2・3前	2			1						
	旅行業取扱管理者演習	2・3前	2								1	
	旅程管理者演習	2後	2			1						
	イベント企画演習	3後	2			1						
	専門インターンシップ	3後	2				1				1	
	国際観光ビジネス調査	3後	2			1						
専門キャリア科目	English for Business Communication 1	3前	2			1	1					
	English for Business Communication 2	3後	2			1	1					
	English for Business Communication 3	4前	2			1					1	
	English for Business Communication 4	4後	2			1					1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科別専門科目 専門演習科目	専門演習 1	2前	2			3	3					
	専門演習 2	2後	2			3	3					
	専門演習 3	3前	2			3	3					
	専門演習 4	3後	2			3	3					
	専門演習 5	4前	2			3	3					
	専門演習 6	4後	4			3	3					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 学科別専門科目 専門演習科目	専門演習 1	2前	2			2	3	1				
	専門演習 2	2後	2			2	3	1				
	専門演習 3	3前	2			2	3	1				
	専門演習 4	3後	2			2	3	1				
	専門演習 5	4前	2			2	3	1				
	専門演習 6	4後	4			2	3	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業運営上の理由により、「日本語コミュニケーション」の兼任・兼任教員の配置を1名から3名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「日本語コミュニケーション2」の兼任・兼任教員の配置を1名から3名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「情報リテラシー1」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「情報リテラシー2」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅱ」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「英語表現Ⅰ」の配当年次を「1・2・3前後」から「1・2・3前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「中国語入門Ⅱ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「フランス語入門Ⅱ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「海外短期語学研修」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「General English1」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「General English2」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「English Communication1」の兼任・兼任教員の配置を3名から1名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「English Communication2」の兼任・兼任教員の配置を3名から1名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「日本の文学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「人間と宗教」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「哲学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「比較文化論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「考古学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「身体論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「20世紀の芸術」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「国際協力と日本」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「人権と社会」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「現代倫理」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「社会学概論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「多文化共生社会」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「経済入門」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「外国史概説」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「生命と科学」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「暮らしの科学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「子どもと文化」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任教員の配置を2名から3名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「健康科学」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「基礎演習1」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師0」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「基礎演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師0」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「マネジメント入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「マネジメントインフォメーション」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「ビジネスデータ分析」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「生産管理」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「経営モデル分析」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「Intercultural Studies1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「Intercultural Studies2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。</li> <li>・授業運営上の理由により、「短期海外研修」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「多国籍企業論」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「Global Business Studies3」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「Global Business Studies4」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習1」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習2」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習3」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習4」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習5」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> <li>・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習6」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	156 科目	0 科目	175 科目	[ 0 ] 科目	[ 0 ] 科目	[ 0 ] 科目	[ 0 ] 科目	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
 【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{175} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積15,200㎡）、びわこ成蹊スポーツ大学（必要面積14,400㎡）と共用 運動場用地2箇所は校舎敷地と別地（徒歩約5分に1箇所、公共交通機関利用約50分に1箇所） 敷地の使用用途変更のため(30)			
	校舎敷地	5,932.24 ㎡	27,043.55 ㎡ <del>25,780.55 ㎡</del>	51,992.94 ㎡ <del>50,288.54 ㎡</del>	84,968.73 ㎡ <del>82,001.33 ㎡</del>				
	運動場用地	0 ㎡	73,520.01 ㎡	81,761.77 ㎡ <del>83,657.17 ㎡</del>	155,281.78 ㎡ <del>157,177.18 ㎡</del>				
	小 計	5,932.24 ㎡	100,563.56 ㎡ <del>99,300.56 ㎡</del>	133,754.71 ㎡ <del>133,945.71 ㎡</del>	240,250.51 ㎡ <del>239,178.51 ㎡</del>				
	そ の 他	0 ㎡ <del>428.00 ㎡</del>	233.71 ㎡ <del>594.52 ㎡</del>	15,802.11 ㎡ <del>15,611.11 ㎡</del>	16,035.82 ㎡ <del>16,633.63 ㎡</del>				
	合 計	5,932.24 ㎡ <del>6,360.24 ㎡</del>	100,797.27 ㎡ <del>99,895.08 ㎡</del>	149,556.82 ㎡	256,286.33 ㎡ <del>255,812.14 ㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積13,000㎡）と共用 部屋の用途変更のため(30)				
	11,428.70 ㎡ <del>11,400.96 ㎡</del> (11,428.70 ㎡) <del>(11,400.96 ㎡)</del>	22,378.87 ㎡ <del>22,374.60 ㎡</del> (22,378.87 ㎡) <del>(22,374.60 ㎡)</del>	4,050.57 ㎡ <del>4,082.58 ㎡</del> (4,050.57 ㎡) <del>(4,082.58 ㎡)</del>	37,858.14 ㎡  (37,858.14 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む） 英語教育センター設置のため(30)			
	19 室	34 室	163 室	13 室 (補助職員 -人)	2 室 1 室 (補助職員 -人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	マネジメント学部 国際観光ビジネス学科		9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	国際観光ビジネス学科 単位での特定不能なため、大学全体の数（大阪成蹊短期大学との共用を含む） 新規購入による(30)	
	国際観光 ビジネス学科	307,912 [39,263] <del>304,978 [38,512]</del> (307,912 [39,263]) <del>(304,978 [38,512])</del>	11,004 [8,840] <del>10,197 [8,040]</del> (11,004 [8,840]) <del>(10,197 [8,040])</del>	8,707 [8,707] <del>7,907 [7,907]</del> (8,707 [8,707]) <del>(7,907 [7,907])</del>	6,481 <del>3,105</del> (6,481) <del>(3,105)</del>	3,449  (3,449)	34  ( 34 )		
	計	307,912 [39,263] <del>304,978 [38,512]</del> (307,912 [39,263]) <del>(304,978 [38,512])</del>	11,004 [8,840] <del>10,197 [8,040]</del> (11,004 [8,840]) <del>(10,197 [8,040])</del>	8,707 [8,707] <del>7,907 [7,907]</del> (8,707 [8,707]) <del>(7,907 [7,907])</del>	6,481 <del>3,105</del> (6,481) <del>(3,105)</del>	3,449  (3,449)	34  ( 34 )		
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	1,730.14 ㎡ <del>2,060.08 ㎡</del>	180 席	310,000 冊		大学全体 書庫の使用用途変更のため(30)				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,357.27 ㎡	該当なし		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナルの整備費を含む（運用コストを含む）	
	経費の見積り	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	— 千円	400千円		400千円
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	3,500千円	500千円	500千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,410千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学研究科									
教育学専攻	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.40	平成30年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	70	3年次 <sub>1</sub>	282	学士 (経営学)	1.07	平成15年度	同上	
スポーツマネジメント学科	4	110	3年次 <sub>1</sub>	442	学士 (経営学)	1.17	平成28年度	同上	
国際観光ビジネス学科	4	60	3年次 <sub>2</sub>	244	学士 (経営学)	1.01	平成30年度	同上	
芸術学部									
造形芸術学科	4	177	3年次 <sub>1</sub>	710	学士 (芸術)	1.06	平成18年度	同上	
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
教育学部									
教育学科	4	180	3年次 <sub>5</sub>	730	学士 (教育学)	1.04	平成26年度	同上	
初等教育専攻	4	120	3年次 <sub>5</sub>	490	学士 (教育学)	1.05	平成26年度	同上	
中等教育専攻	4	60	-	240	学士 (教育学)	1.00	平成30年度	同上	
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ学研究科									
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.65	平成24年度	滋賀県大津市北比良1204番地	
スポーツ学部									
スポーツ学科	4	360	-	1,440	学士 (スポーツ学)	1.11	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
大学の名称	大阪成蹊短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活デザイン学科	2	50	-	100	短期大学士 (生活デザイン)	1.12	平成28年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
調理・製菓学科	2	120	-	240	短期大学士 (調理・製菓)	1.08	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	240	短期大学士 (栄養)	0.88	平成28年度	同上	
幼児教育学科	2	300	-	600	短期大学士 (幼児教育)	0.99	昭和31年度	同上	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	1.13	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	60	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	1.03	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	100	短期大学士 (経営会計)	1.14	平成15年度	同上	
総合生活学科	2	-	-	-	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	-	昭和26年度	同上	平成28年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 開設時に定年年齢に達している者が1名、完成年度までに定年年齢に達する者が2名いる。教員組織編成の将来構想を検討し、当該3名の教員については、完成年度までの雇用を原則としつつも、完成年度以後を見据えた教員採用において50代の教員を中心に年齢構成のバランスに配慮しながら教員採用を行うこととしている。また、開設にあたって、経営学を専門とする30代の若手教員を新たに採用している。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 【該当なし】			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<マネジメント学部 国際観光ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見直しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大阪成蹊大学では、学部毎にFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。委員会は、学部長が委員長となり、各学科の学科長及び各学科から選出した委員により構成している。なお、その他に本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議を開催しているが（平成28年度実績：全15回開催 平成29年度実績：全10回開催 構成員：理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等）、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラバスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など現時点で20のプロジェクトを立ち上げ、教学改革を推進する中で、各プロジェクトが中心となって教員の資質を高める研修を開催している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成30年度のFD委員会の開催予定は以下の通りである。</p> <p>6月19日開催予定</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>平成30年度FD計画について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>FD研修として以下の研修を実施し、教員の資質の維持向上を図る予定である。</p> <p>全学FD</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの高等教育に求められる質保証について 平成30年8月</li> <li>・全学的なアクティブラーニング型授業の推進、授業方法の工夫、適切な成績評価のための工夫、効果的な授業設計・シラバス作成のための工夫等について 平成30年8月</li> <li>・平成31年度以降の大学共通教育について 平成31年2月</li> </ul> <p>学部別FD</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナル・ブランドマネジメント・プロジェクトに基づく指導について 平成30年4月</li> <li>・全学的な教学改革の取組みの概要について 平成30年5月</li> <li>・専門演習・卒業研究指導について 平成30年6月</li> <li>・授業評価アンケートの結果について 平成30年6月・12月</li> <li>・成績評価分布・GPAの状況について 平成30年6月・12月</li> <li>・平成31年度入学選抜における面接試験の運営について 平成30年7月</li> <li>・平成31年度以降の初年次教育について（授業担当者） 平成30年8月</li> <li>・平成31年度以降のキャリア教育について（授業担当者） 平成30年8月</li> <li>・PROGテスト結果について 平成30年8月（1年生）、平成31年2月（3年生）</li> <li>・平成31年度以降の専門教育について 平成30年9月</li> <li>・平成31年度のシラバス作成にあたって 平成30年11月</li> <li>・研究倫理研修・研究報告会 平成31年3月</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>上記取組は、FD委員会及び教学改革FSD会議、大阪成蹊学園に設置する高等教育研究所及び教務本部等との連携を図り実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>前述の通り、前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組を実施する予定である。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することとして、FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案して、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組むこととする。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>平成30年7月、平成31年1月の前後期1回ずつ実施予定</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業実施報告書又は授業改善計画書の提出を課す。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することとする。</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際観光ビジネス学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「グローバル化が進む産業及び観光関連産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「国際コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、グローバル化が進む産業及び観光関連産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを設置の目的としている。初年度は、「大学での学びとキャリアを考える」「日本語コミュニケーション」「情報リテラシー」等、大学生に必要なアカデミックスキルや、社会人としても求められるリテラシーを身につける大学共通基礎科目のほか、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講した。また「マネジメント入門」「ビジネス会計」等の学部共通専門科目や「国際経営総論」「観光ビジネス概論」等の学科別専門科目を通じて、グローバル産業や観光関連産業に関する基礎的な考え方を身につけることのできる科目を開講した。入学前教育や、新入生宿泊研修等、4年間を通して学び合う仲間として学生が互いの理解を深めながら、大学での学びを円滑にスタートできるようなプログラムも展開している。また、新たに英語教育センターを開設し、英語が堪能な日本人スタッフと、複数名のネイティブスタッフを雇用・配置するなどして、正課外での英語学習環境を充実した。また夏季には3週間の短期海外研修を経験することとなるが、異文化コミュニケーションを通じて様々な気づきを得ながら大きく成長できるよう、事前・事後及び滞在中の指導や、危機管理を徹底している。

なお各科目の開講にあたっては、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。また、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年5月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関連所属協会等に配布  
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受審済（適合）  
・平成36年度に同評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (  平成30年 8月 1日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学教授会規程(平成15年4月1日)第4条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学マネジメント学部にて、本学の教学理念に沿った教育活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という)の推進を図るため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(以下、「委員会」という)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) FDを推進するための施策の検討と実施に関すること
- (2) FDに係わる資料・情報の収集と学内広報に関すること
- (3) FDに係わる調査・研究に関すること
- (4) 授業評価に関すること
- (5) 教育課程編成・実施の方針に関すること
- (6) FDに係わる報告書等の作成に関すること
- (7) 教育活動優秀教員の表彰に関すること
- (8) FDに係わる職員の職能開発(スタッフ・ディベロップメント [SD])との連携に関すること
- (9) FDに係わって学長から諮問があった事項に関すること
- (10) その他FDに関すること

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学科長
- (3) 教務委員会委員長
- (4) 学部長が推薦した者 若干名
- (5) 教務部長

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員会には副委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

(任期)

第5条 第3条第4号の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項が定める委員以外の委員の任期は、当該役職もしくは委員の在任期間とする。

3 委員に欠員が生じたときは、これを補充する。ただし、その場合の任期は前任者の残存期間とする。

(運営)

第6条 委員会は委員長が招集し、議事を進行する。

2 委員会は構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決めるところによる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代行する。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務部において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関わる必要な事項は、委員会が別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会および教授会の審議を経て行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月23日)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月24日)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年2月23日)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月21日)

この規程は、平成28年4月21日から施行する。

附 則(平成29年10月30日)

この規程は、平成29年10月30日から施行する。